

平成 30 年 風しん非常事態宣言

～ 未来の赤ちゃんのために社会全体で風しんにさよならを ～

神奈川県は、平成 25 年の風しん流行時に「風しん非常事態」を宣言し、「風しん撲滅作戦」を展開してきましたが、今年の夏以降、風しん患者が急増しています。

こうした状況を受け、改めて、風しんの非常事態を宣言します。

風しんは、妊娠初期の女性が感染すると、お腹の赤ちゃんに、難聴や心疾患など、先天性の病気を引き起こすおそれがあります。そのため、妊娠を希望する女性は早めに免疫（抗体）を持っていただくとともに、妊婦の周囲の人にも免疫を持っていただくことが大切です。

また、今回の患者の中心である 30 代～50 代の男性は、予防接種を受ける機会がなかったため、風しんに対する免疫を持っていない可能性があります。そのため、風しんの流行を社会全体で防ぐためには、働き盛りの男性をはじめ、可能な限り全ての皆様に、免疫を持っていただくことが大切です。

風しんは、予防接種で防ぐことができる病気です。

神奈川県は、風しん撲滅に向けて、国への政策提案や企業等への働きかけ、広報・周知などに、全力で取り組んでまいります。

平成 30 年 12 月 10 日

神奈川県知事 黒岩 祐治



風しんとは？

風しんは、発熱や発しん、リンパの腫れを特徴とする感染症で、「三日ばしか」とも呼ばれています。
咳やくしゃみなどで飛び散るしぶきで感染し、感染力はインフルエンザの2～4倍と言われています。
そのため、職場や電車の中で、知らず知らずのうちに、うつる（うつしてしまう）危険性があります。

風しんの怖さをご存知ですか？

妊娠初期の女性が感染すると、お腹の赤ちゃんに難聴や心疾患など、先天性の病気（先天性風しん症候群）を引き起こすおそれがあります。

風しんは、予防接種で防ぐことのできる病気です！

予防接種と抗体検査には 費用助成制度 があります

予防接種を受ける前に、風しんの免疫（抗体）の有無を調べること（抗体検査）ができます。
検査の結果、免疫（抗体）が十分でない方は、予防接種を検討してください。
神奈川県には、無料抗体検査や予防接種費用の助成制度があります。
対象者や自己負担額はお住まいの市町村により異なるので、県のホームページやお住まいの市町村の予防接種担当窓口でご確認ください。

風しん予防推進協力法人 にぜひ登録を！

従業員やその家族の健康を守るためにも、予防接種や抗体検査を受けやすい環境づくりを進めるなど、法人や団体の皆様の積極的な風しん対策をお願いします。
神奈川県では、県と連携して風しん予防に取り組む法人等を「風しん予防推進協力法人」として登録する制度を設けています。ぜひ登録をお願いします。

問合せ先

神奈川県健康危機管理課 感染症対策グループ

電話 (045) 210-4791・4793

神奈川県 風しん

検索

